



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東
 コード番号 3928 URL https://mynet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小出 孝雄 TEL 03-6864-4261
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,560	△7.0	445	△37.7	437	△38.2	328	△36.5
2020年12月期第2四半期	5,976	0.5	715	—	706	—	516	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 329百万円 (△36.3%) 2020年12月期第2四半期 516百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	38.05	37.94
2020年12月期第2四半期	60.09	59.89

(注) 2020年12月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年12月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,122	2,921	56.7
2020年12月期	5,049	2,518	49.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 2,906百万円 2020年12月期 2,503百万円

(注) 2020年12月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年12月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期（累計）	11,600	0.6	750	△33.9	700	△37.3	650	△42.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	8,698,760株	2020年12月期	8,614,600株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	11,480株	2020年12月期	5,230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	8,623,682株	2020年12月期2Q	8,597,772株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する国内ゲームアプリの市場規模は、「ファミ通ゲーム白書2020」によると、2019年に1兆2,140億円にまで成長し、2021年には1兆2,720億円に達すると予想されております。しかし、中国・韓国系企業のタイトルのシェアは年々増加しており、ゲームメーカーの競争環境は激化しております。そのため、資金調達力などの企業体力に限界のある小・中規模事業者の淘汰が進んでおり、今後も事業者間の合従連衡が行われていくものと考えております。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォンゲームの運営に特化したゲームサービス事業を主力事業としております。既にリリースされているゲームタイトルをゲームメーカーから買取や協業、またはM&Aで仕入れ、国内最大数のタイトル運営で蓄積したデータ・アセット・ノウハウをシェアリングすることで収益性を高め、タイトルの長期利益化・長期運営を実現しております。

また、当社は、既存産業のDXが進む2020年代において、「デジタルの力で繋がりを拡張する」というミッションの下、強みのDX技能をゲーム領域に加えスポーツ領域のコンテンツとコミュニティに投下し、クラブ運営DXとファンタジースポーツとして事業化に取り組んでおります。

当第2四半期においては、他社超大型タイトルの影響による一時的な市場規模の縮小及び巣ごもり特需の終了による既存タイトルの落ち込みと、新規獲得の遅れにより、前年同期比減収減益となりました。一方で中長期では国内スマートフォンゲーム市場は伸び続けており、当社のターゲット市場規模も順調に拡大するものと想定しております。当社においても、競争力・渉外力を強化しながら、新規獲得のマネジメントに注力してまいります。

また、当第2四半期において、1タイトルの仕入と3タイトルのエンディングを行い、2021年6月末時点での運営タイトル数は33となっております。

クラブ運営DX事業では、FC琉球の物販・ファンクラブ事業において、デジタルインフラの構築、業務フローの全体最適化によって、早くも順調な成果が発現しております。

ファンタジースポーツにおいては、2021年6月に現実運動型ゲーム「プロ野球#LIVE2021」をローンチし、当社の想定以上に順調な立ち上がりを記録しております。今後KPIの分析・検証を行い、競技軸での横展開を進行しながらNFTをはじめとする領域の開拓を行い、今後の事業展開を加速してまいります。

なお、当第2四半期において、当社グループにおける新型コロナウイルスの影響は限定的です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,560,257千円（前年同期比7.0%減）、営業利益は445,431千円（前年同期比37.7%減）、経常利益は437,000千円（前年同期比38.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は328,160千円（前年同期比36.5%減）となっております。

なお、当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて72,231千円増加し、5,122,098千円となりました。これは主に、長期前払費用の増加(前連結会計年度末比121,053千円の増加)などがあったことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて330,909千円減少し、2,200,231千円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債の減少(前連結会計年度末比338,750千円の減少)などがあったことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて403,140千円増加し、2,921,866千円となりました。これは主に、当期純利益の獲得による利益剰余金の増加(前連結会計年度末比5,101,024千円の増加)などがあったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ142,496千円減少の2,613,334千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、76,697千円となりました(前年同期は735,652千円の収入)。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益432,208千円、減価償却費68,354千円であり、主な支出要因は未払金の増減額182,857千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、180,444千円となりました(前年同期は37,301千円の支出)。主な支出要因は、長期前払費用の取得150,500千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、38,750千円となりました(前年同期は592,250千円の支出)。主な支出要因は、社債の償還による支出488,750千円、長期借入金の返済による支出50,000千円であり、主な収入要因は長期借入金による収入500,000千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年2月12日に公表した決算短信における連結業績予想から修正は行っておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,755,830	2,613,334
売掛金	1,165,013	1,203,881
未収入金	27	833
未収還付法人税等	6,825	539
その他	190,547	319,423
流動資産合計	4,118,243	4,138,012
固定資産		
有形固定資産	61,935	70,176
無形固定資産		
のれん	125,817	92,995
その他	30,334	33,361
無形固定資産合計	156,152	126,357
投資その他の資産		
投資有価証券	152,919	207,258
敷金	171,447	117,256
長期前払費用	107,400	228,453
繰延税金資産	281,203	234,019
その他	564	564
投資その他の資産合計	713,534	787,552
固定資産合計	931,623	984,086
資産合計	5,049,867	5,122,098
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,084	220,560
未払金	321,861	210,283
1年内返済予定の長期借入金	100,000	200,000
1年内償還予定の社債	638,750	300,000
未払法人税等	50,230	52,604
その他	387,020	253,103
流動負債合計	1,775,946	1,236,551
固定負債		
長期借入金	50,000	400,000
社債	700,000	550,000
資産除去債務	5,193	9,454
繰延税金負債	—	4,226
固定負債合計	755,193	963,680
負債合計	2,531,140	2,200,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,076,557	46,483
資本剰余金	3,057,113	1,387,290
利益剰余金	△3,629,198	1,471,826
自己株式	△353	△353
株主資本合計	2,504,119	2,905,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,107	904
その他の包括利益累計額合計	△1,107	904
新株予約権	15,715	15,715
純資産合計	2,518,726	2,921,866
負債純資産合計	5,049,867	5,122,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,976,453	5,560,257
売上原価	3,211,457	3,303,475
売上総利益	2,764,996	2,256,781
販売費及び一般管理費	2,049,654	1,811,349
営業利益	715,341	445,431
営業外収益		
受取利息	12	13
為替差益	—	2,609
法人税等還付加算金	465	70
還付消費税等	26	—
消耗品売却収入	857	—
その他	29	10
営業外収益合計	1,392	2,703
営業外費用		
支払利息	4,194	2,625
社債利息	5,202	2,674
投資事業組合運用損	—	4,061
その他	428	1,773
営業外費用合計	9,825	11,134
経常利益	706,908	437,000
特別利益		
新株予約権戻入益	378	—
特別利益合計	378	—
特別損失		
固定資産除却損	2,640	2,260
減損損失	53,267	2,530
特別損失合計	55,907	4,791
税金等調整前四半期純利益	651,378	432,208
法人税、住民税及び事業税	123,440	53,116
法人税等調整額	11,270	50,931
法人税等合計	134,711	104,047
四半期純利益	516,667	328,160
親会社株主に帰属する四半期純利益	516,667	328,160

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	516,667	328,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	904
その他の包括利益合計	—	904
四半期包括利益	516,667	329,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516,667	329,065
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	651,378	432,208
減価償却費	69,299	68,354
のれん償却額	32,822	32,822
受取利息及び受取配当金	△13	△13
支払利息及び社債利息	9,397	5,299
為替差損益(△は益)	—	△2,609
減損損失	53,267	2,530
投資事業組合運用損益(△は益)	—	4,061
新株予約権戻入益	△378	—
固定資産除却損	2,640	2,260
売上債権の増減額(△は増加)	37,890	△39,916
未収入金の増減額(△は増加)	△32	△806
仕入債務の増減額(△は減少)	△106,907	△57,523
未払金の増減額(△は減少)	△75,828	△182,857
その他	93,685	△138,547
小計	767,221	125,263
利息及び配当金の受取額	13	13
利息の支払額	△9,793	△5,171
事業構造改革費用の支払額	△43,563	—
法人税等の支払額	△23,902	△50,232
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	45,676	6,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	735,652	76,697
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△25,000	△53,300
有形固定資産の取得による支出	△233	△14,499
無形固定資産の取得による支出	—	△10,900
敷金及び保証金の回収による収入	—	76,591
敷金及び保証金の差入による支出	△68	△27,457
長期前払費用の取得による支出	△12,000	△150,500
その他	—	△378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,301	△180,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△70,000	—
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
社債の償還による支出	△472,250	△488,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△592,250	△38,750
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106,100	△142,496
現金及び現金同等物の期首残高	2,193,725	2,755,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,299,825	2,613,334

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 譲渡制限付株式報酬

当社は、2021年4月15日開催の取締役会決議に基づき、2021年5月14日に譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行いました。それに伴い、当第2四半期連結累計期間において資本金が36,483千円、資本剰余金が36,483千円それぞれ増加しております。

(2) 減資及び剰余金の処分

当社は、2021年3月25日開催の定時株主総会決議に基づき、2021年6月1日に減資及び剰余金の処分を行いました。それに伴い、当第2四半期連結累計期間において資本金が3,066,557千円、資本剰余金が1,706,306千円それぞれ減少し、利益剰余金が4,772,863千円増加しております。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が46,483千円、資本剰余金が1,387,290千円、利益剰余金が1,471,826千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2019年12月1日に行われた株式会社MYL00PSとの企業結合について前々連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に確定しております。

また、契約に定める価格調整に基づく条件付取得対価の支払いが確定したことにより、取得時に発生したものとみなして取得価額を修正し、のれんの金額及びのれんの償却額を修正しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の見直しを行った結果、主として繰延税金資産に69,200千円が配分され、暫定的に算定されたのれんの金額は、66,132千円から130,800千円増額し196,932千円となりました。

これらにより、前第2四半期連結累計期間におけるのれんの償却額は32,822千円、前第2四半期連結会計期間末におけるのれんの金額は158,640千円となっております。

(重要な後発事象)

(無担保社債 (SDGs推進私募債) の発行)

当社は2021年6月24日の取締役会において、無担保社債 (SDGs推進私募債) の発行を決議し、2021年7月12日に5億円を調達いたしました。

①	発行価額	額面100円につき金100円
②	発行総額	5億円
③	利率	0.27%
④	償還方法	半年毎定時償還
⑤	償還期間	5年
⑥	発行の時期	2021年7月12日
⑦	担保の内容	無担保
⑧	資金の用途	今後のゲームサービス事業及びスポーツDX事業におけるM&Aやゲームタイトルの買取に備えた資金確保のため